NIE実践報告

1．タイトル：☆論説文を自分たちの手で、調査・まとめ・発表により、理解を深める。

2．学校名

岡山県立倉敷中央高等学校

3．実践者名（代表者名）

小山明子

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語・『国語総合』　120人（40人×3クラス）

6．単元（本時の学習課題）名

「クローン問題と現代の幻想」

7．目標(狙い)

論説文を読み解くための資料を本や新聞・インターネットから取り出し、収集した資料を活用して、読み手に理解できるレジメを作成し、発表する。そのことにより、論説文の内容をより深く読解する。

8．評価の視点

関連のある資料を取り出せたかどうか。信憑性のあるレジメになったかどうか。読み手を意識したレジメになったかどうか。そのレジメを活用して、論説文を深く読み解いたかどうか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「クローン問題と現代の幻想」（教科書教材）【国語総合・6から7時間】

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

（学習展開）

①論説文を読み、初発の感想を書く。

②倫理と科学の間で問題となっている事例を確認する。「クローン牛」「遺伝子治療」など。

③その事例について自分たちの知識を増すために、本やインターネット新聞から資料を探し出す。［グループごとに］　④必要事項をまとめ、自分たちのレジメを作成する。　⑤みんなの前に発表し、質疑応答を行う。　⑥発表を聞いたのちに、論説文を読み解く。

（留意点）

①信憑性があるかどうかを自分たちで考えながら、話し合った中でレジメを作る。

②読み手に分かるような文章を作成することが、イコール自分たちが分かっているかどうかを確認する判断材料となることを確認させながら、まとめさせる。

③あくまでも論説文を読み解くためのレジメであることを念頭におかせ、5W1Hならびに現在の状況、今後の展開予想をある程度把握できたら良いとさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

論説文となると、「難しい」と思いがちであるが、文中で問題となっている事例を自分たちで調査・まとめ・発表することにより、一つ一つの事例が現在の自分たちの生活に繋がっていることが分かり、読み解くのが楽しそうであった。

12．成果と課題

後日、新聞にクローン人間に関することや、遺伝子治療、代理出産などの記事が掲載されることもあり、新聞に対する興味関心が強まったようだ。また、インターネット上には、微妙に内容が異なるものも掲載されており、信憑性という点では新聞であるという認識もできたように感じる。